

参考資料

○ 京都市長賞

「馬耳東風」

中村 怜子 さん（東京都中野区）

（応募者コメント）ケータイを歩きながらや自転車に乗りながらやっている。

「アブナーイ！」注意も知らんぷり。あっ！耳が・・・



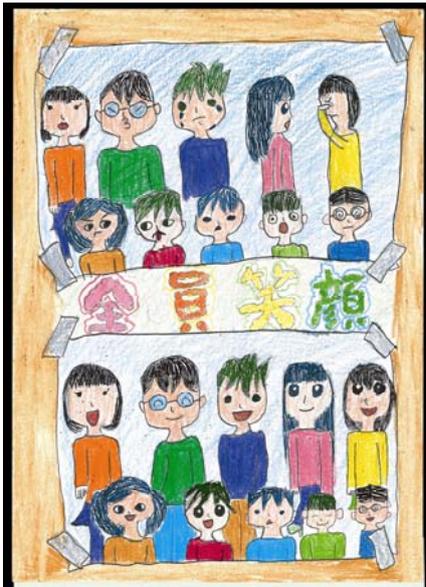
○ 京都市教育長賞

「全員笑顔」

村岡 愛理 さん（京都市左京区）

（応募者コメント）みんな泣いていたり、怒っていたりしたより、笑っている方がいい

など思ったからです。記念写真では「やっぱSMILEっしょ！！」



○ 優秀賞

「厚顔無恥」

今井 守一 さん（長野県北佐久郡立科町）

（応募者コメント）いい意味で天下をとる人は、こういう人だ。



○ 優秀賞

「荒城草置」 磯村 彰宣 さん（愛知県常滑市）

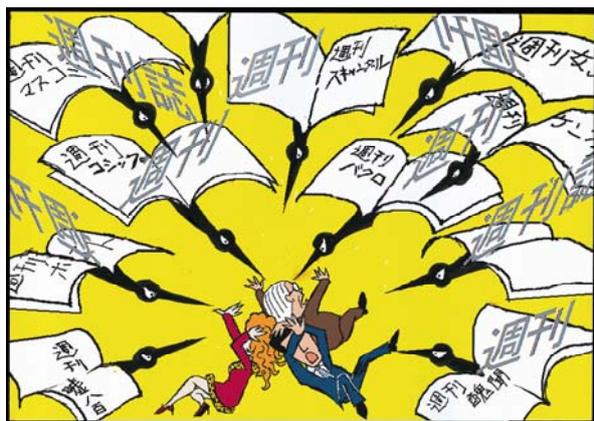
（応募者コメント）物の心が聞こえたら、ひとは、せめてもう少しだけ、共に暮らした仲間にやさしくなれるはず。草むらに、あの日の未来。



○ 優秀賞

「集中砲火」 加藤 桂 さん（愛知県春日井市）

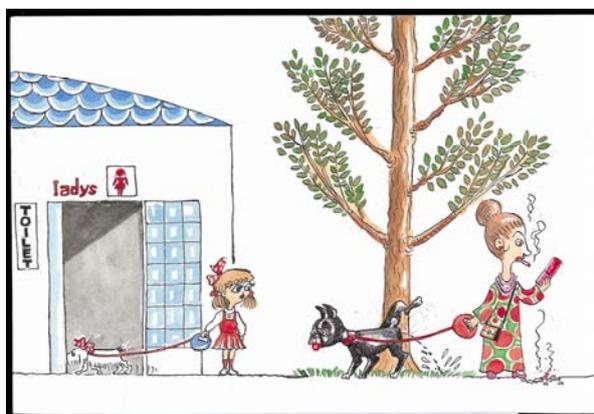
（応募者コメント）最近の週刊誌は有名人達への中傷がかなり酷いものがある。それが新聞紙面の下段広告欄に週刊誌の見出しとして載るものだから、新聞記事よりそちらの方が目立ってしまう。



○ 佳作

「人犬教育」 高木 宏 さん（千葉県浦安市）

（応募者コメント）主人のマナー無視が犬にも伝わるのです。もう一度マナー教育を行う必要大あり。



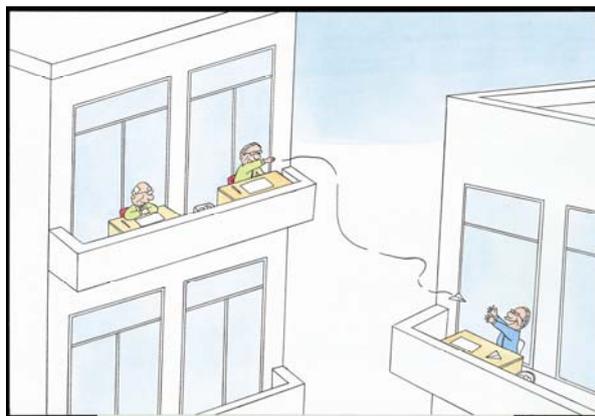
○ 佳作

「復幸支援」 草野 彩香 さん（仙台市太白区）  
（応募者コメント）たとえ1円だろうと，一人一人が募金すれば，大きなお金になり，大震災や世界中の貧しい国の人たちに貢献できる。



○ 佳作

「鼓舞激励」 矢本 ヒロカズ さん（愛知県小牧市）  
（応募者コメント）如何なる境遇になろうとも，人は生きて生活していかなければなりません。またその権利があります。お互い，励ましあい激励しあって強く生きていってもらいたいものです。



○ 佳作

「狸寝入族」 中西 優多朗 さん（京都府相楽郡精華町）  
（応募者コメント）電車でのマナー違反の人達（族）をかきました。



○ 佳作

「表顔裏顔」 田中 陽一 さん（兵庫県明石市）

（応募者コメント） 怒りを隠している笑顔？ 悲しみを隠している笑顔？ 本当の気持ちに気付いていますか？



○ 佳作

「一期一会」 浦野 功憲 さん（静岡県伊東市）

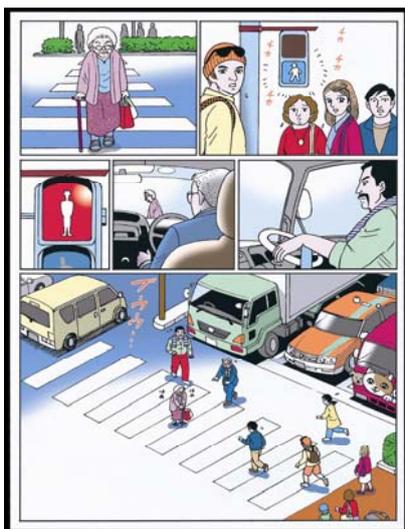
（応募者コメント） 災難にあわれた方々を客人に迎え「野だて」をして、心をなぐさめている図。お百姓さん、小さい駅の駅長さん、漁業等の人に茶をほどこしています。この静けさに、心に安らぎを感じ、明日への希望が生まれ、活力を取りもどして頂けるように願いを込めた。



○ 佳作

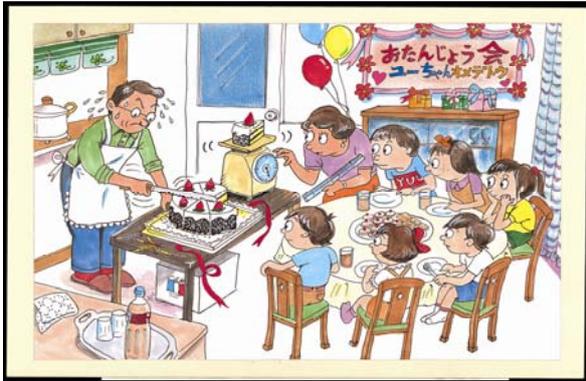
「豊潤社会」 元丘 秋 さん（埼玉県朝霞市）

（応募者コメント） 信号一つ見逃したところで、大勢に影響がある人はまずいません。大事なことは、どんな衣を着ていても、すぐに弱い立場の人の身になって、助け合えることです。今は無理でも、やがてこういう豊かで、潤いのある世の中が来ますよう願いをこめて描きました。



○ 佳作

「公平無私」 中原 静子 さん（東京都世田谷区）  
（応募者コメント） 子供に物を与えるときは、わけへだてなくは昔からの習いだが、近頃は数値、格差意識にたけた子が増えたので、親はシビアに対応を求められて大変。



○ 奨励賞

「付和雷同」 長谷川 眞子 さん（京都市南区）  
（応募者コメント） みんなと同じでないと不安になり、簡単に多数の意見に調子を合わせてしまう人が多く、自分の意見を持ちにくいというのを表現しました。勇気を持ちたいです。



○ 奨励賞

「友思共遊」 笠原 聡実 さん（京都市上京区）  
（応募者コメント） 自分の考えを伝えられない友だちのことを思いやる気持ちが大切と教わりました。



○ 奨励賞

「一刻千金」 竹浦 夏野 さん（京都市左京区）

（応募者コメント）「一刻千金」とはひとときが千金にも価することをいいます。わたしにとっては友達と笑ってられる時間が「一刻千金」で、忘れられない時間です。



○ 奨励賞

「悪事千里」 新下 葉月 さん（京都市西京区）

（応募者コメント）いじめは、気づいてないふりをしてでも知らぬ間にわかる。その目の前に起きていることを止められるか。

